



平成22年3月29日

卓話 『どうしたら日本を元気にできるか』

評論家・(財)大宅壮一文庫理事長

大宅 映子 様

こんにちは、大宅映子でございます。今の日本、一体どうしたらいいのさっていう解答が無いんですね。民主党が駄目なのは分かりましたけど代わりがないわけですよ。そもそも自民党はもう愛想が尽きてノーと言ったんですから。

郵政の話、私は小泉さんを100パーセント応援しているわけじゃありませんけど、みんな前のことを忘れてるんですよ。バブルがはじけて失われた10年って言って不良債権の処理ができずにみんな疲弊して、このままじゃ駄目だって言って小泉さんが総裁に選ばれた。それで構造改革。官から民へと言って不良債権も無くした。竹中さん散々いじめられてますけど、あそこでやってなかったらもっと前に日本が沈没している可能性があったわけです。だけど今の亀井さんみたいに逆戻り以上のことになるって、一体何なんですか。沖縄で福島さんに引きずられ郵政で亀井静香に引っ張られ、Where is 民主党よ。308勝ち取ったのは民主党ですよ。どうしてしっかり民主党の主張を通さないのか。今の内閣がぐちゃぐちゃだっていうのを毎日毎日知らせて下さる。

どうしてこうなったか、つらつら考えますと、だいぶ前から予兆はあった。戦後、敗戦国が何しろ立ち上がらなきゃいけないというんで官が主導して驚異の経済成長、世界第2位の経済大国になったわけです。そのときに結果平等っていうか、私に言わせりゃ悪平等なんですけど、業界は弱小のところに来るまで一緒にやんなさいって、強い人が先に進むことを認めなかった。そのDNAをずっとひきずってる。戦後、日本はアメリカに政治も防衛も

おんぶに抱っこで、取りあえず経済に行けばいいと。で、日本アズ・ナンバーワンになったわけですけど、あれは世界が作った波にピュッと乗っただけ。政治的な辛い決断なんかする必要なかったわけです。で、冷戦構造が終わって初めて独立国家としていろんな決断しなきゃいけなくなったときに全然育ってなかった。

日本は世界に物を売っていかない限り生きていけない。やっぱり競争原理、自由主義じゃないと思いますが、今の政権は大変な逆戻りで、格差からなんか全部小泉のせいだっていう。で、どうすりゃいいのかっていうと、やっぱり頑張った人は褒められる社会じゃなきゃおかしいわけです。競争を認める社会だったら結果に差が出るのは当たり前。差別だ格差だというのはおかしいんですね。

私は高校を無料にしてほしいなんて声聞いたことが無い。子供手当だって本当に子供を産んでもらおうと思っているのか。景気を良くするとか途中から話がぐちゃぐちゃになって、それで5兆のお金。税金は37兆しかないのに92兆の予算を作って借金がもう980兆。そんな余計なことするなという、それをどこで意思表示できるか。言えることは、近場のところでやれることからでいいから、あらゆる機会を見つけて声を上げていくしかないんじゃないかと思います。ありがとうございました。

